

AutoStore 防火インフラに関するアップデート

変更の概要

01

AutoStore が変更を行う背景

現在の AutoStore システムの標準的な防火設計は、高さ 9.1m の天井を基準としています。このため、高い水圧と大規模なインフラが必要です。これにより、次のような状況が発生する場合があります。

- 大型のポンプが必要となる
- 大きなスプリンクラーパイプが必要となる
- 設置コストが増加する

場合によっては、防火対策だけで、倉庫インフラにかかるコスト全体の 15 ～ 20% を占めることもあります。このことが、他のソリューションと比較して、AutoStore が選ばれにくくなる要因となっていました。



03

変更によるメリット

- 設置コストの削減：地域の規制に応じ、最大 35% の節約が可能です。
- インフラの簡素化：設計や設置、メンテナンスが容易になります。
- ROI の向上：新規導入や拡張を検討するお客様にとって、AutoStore 製品を導入しやすくなります。

02

新たなアプローチ

AutoStore は、防火設計を最適化し、必要な天井の高さを 9.1m から 8.5m に引き下げます。この変更は、大規模な防火試験に基づくものです。次のような効果が見込めます。

- 必要な水圧を低減する
- より小型のパイプ、タンク、ポンプを使用できる
- 最高レベルの安全基準である『完全消火』を維持

04

もっともメリットが大きいケース

今回の変更により、次のケースで特に大きな効果が見込めます。

- 天井の高さが 7.5m 以上の大規模な倉庫
- 自動化による ROI 向上を目指す、新規のお客様
- 拡張や改修を計画しているお客様

今後の予定

AutoStore では、ウェビナーやセミナー、業界向けプレゼンテーションを開催予定です。リスクエンジニアや保険会社、防火コンサルタントの方々を対象に、詳細についてご説明します。